

ベルリンスタートアップエコシステムレポート2024年度 vol.4

国際展示会を軸としたエコシステム参入

戦略的拠点としてのベルリンのポテンシャル

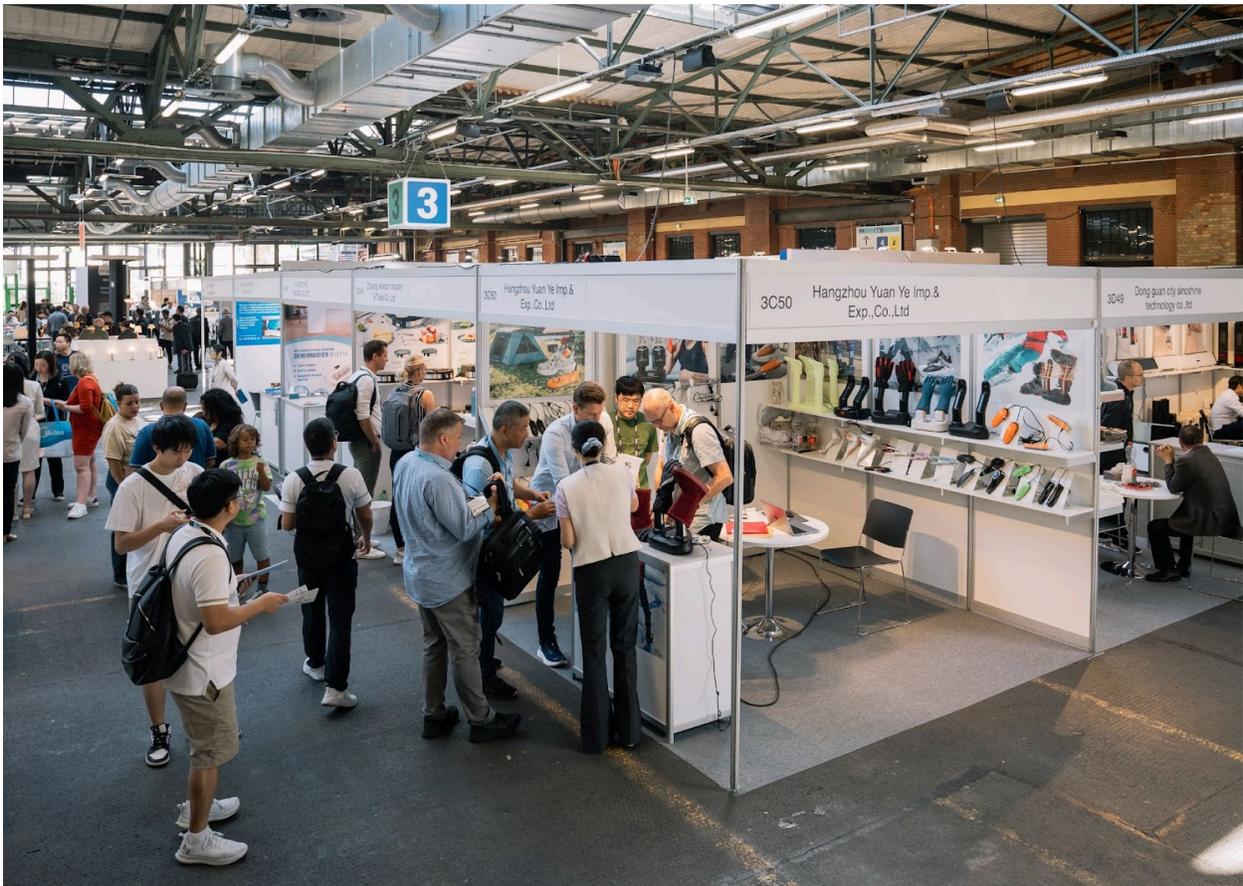


Photo credit : © 2025 IFA Management GmbH

Introduction

日本企業にとって、国際展示会はグローバル展開のための効率的なエントリーポイントである。従来型の市場開拓プロセス（市場調査→代理店探索→パートナーシップ構築）と比較して、一度の参加で複数のステップを並行して進められる点が最大の強みだ。特に市場に初めて参入する段階では、限られた時間・予算・人材を集中的に活用でき、市場の実際の反応や競合情報などをリアルタイムで取得できるため、情報収集の質も格段に向上する。

経済大国ドイツの首都として、また欧州トップクラスのスタートアップ都市として、ベルリンでは毎年数多くの国際展示会やイベントが開催される。これらの展示会には、EU主要国だけでなく、中東欧諸国や新興国からも多くの参加者が集まるため、複数市場へ効率よくアプローチできる機会となる。また、ベルリンとその周辺地域は、フォトニクス、デジタルヘルス、モビリティ等の分野で成熟した産業クラスターを有している。さらに、行政・研究機関・企業が連携してイノベーションを支援する環境が整い、多様な言語や文化を持つ人材が集まっていることで、ベルリン自体がグローバル展開のテストベッドとしても機能している。こうした要素が複合的に作用して、ベルリンで開催される展示会は単なる商談の場以上の価値を持ち、「欧州市場参入とイノベーション創出の統合的プラットフォーム」として機能している。

■ 展示会の戦略的活用法

展示会参加といえば「ブース出展、名刺交換、製品紹介」が定番だ。しかし、ベルリンの展示会・イベント参加を最大限活用するには、例えば以下のような、より戦略的な視点が重要となる。

・マイクロ・インキュベーション・ハブ

展示会への参加を中核としつつ、会期前後もベルリンに滞在し、現地のコワーキングスペース等を活用した短期集中型のイノベーションスプリントを実施する。展示会で獲得した市場フィードバックをリアルタイムで製品やサービスの改良に反映させるアジャイルな開発サイクルを実現し、市場フィットの迅速な検証と最適化が可能となる。

・課題解決型共創モデル

ベルリンが直面する構造的・社会的な課題（高齢化、都市モビリティ、持続可能性など）に貢献するソリューションの提供者としてのポジショニングを確立する。単なる「輸出」から共に解決策を創造する「共創」という価値提案により、市場受容性を高める。

■ 展示会参加を軸としたエコシステム参入を目指して

展示会を効果的に活用するための一例として、以下のような段階的アプローチも有効だ。展示会市参加をきっかけとしたベルリンのスタートアップエコシステムとの関係構築は、欧州市場

における事業拡大への扉を開く重要な鍵となるだろう。

【事前準備】

自社の特性・強みに適した展示会の選定

- ジェトロベルリン事務所の個別コンサルティングサービスの活用
- 競合出展状況と来場者プロフィールの事前調査

出展準備の効率化

- 多言語対応スタッフの確保
- ドイツ市場の特性を考慮した展示デザイン
- CEマーク等の欧州規格適合性の明示

事前ネットワーキング

- 公式アプリ等を活用した事前アポイント取得
- 業界団体などが主催するイベントへの参加
- LinkedInなどのビジネスSNSを活用した情報発信

【展示会参加】

現地に適応したコンテンツ展開

- 欧州規格（CE、GDPR等）への適合性の明示
- サステナビリティ要素のアピール（ドイツ市場では特に重要）
- 現地化戦略の具体的提示（サポート体制、パートナーシップ等）

リアルタイムフィードバックの収集

- 来場者の反応を体系的に記録
- 競合他社の展示内容分析
- 有望な見込み客や現地パートナー候補との対話時間の確保

【展示会後のフォローアップ】

- ベルリン拠点の一時オフィス設置
- 現地法人設立支援サービスの利用
- 継続的なエコシステム参画

2025年注目の国際展示会・イベント

ベルリンおよび近郊で開催される主要な国際展示会やイベントは多岐にわたる。自社の事業領域と戦略目標に合わせて選択されたい。

ハノーバーメッセ 2025

- 会期：2025年3月31日～4月4日
- ウェブサイト：<https://www.hannovermesse.de/en/>

ハノーバーで毎年開催される世界最大級の産業見本市。会場であるハノーバー国際見本市会場までは、ベルリン中央駅からICEで2時間半。2025年は「Energizing a Sustainable Industry」をテーマに、デジタル化、自動化、エネルギーソリューション、サプライチェーンの効率化などに焦点が当てられる。約70カ国から4,000社以上の企業が出展し、300以上のスタートアップ、1,600人以上の講演者が参加する予定。

DMEA 2025 - Connecting Digital Health

- 会期：2025年4月8～10日
- ウェブサイト：<https://www.dmea.de/en/>

ヨーロッパ屈指のヘルスケアIT業界の国際見本市。エキスポ、セミナー、ネットワーキングなど多彩なビジネスプラットフォームを提供し、デジタルヘルス、遠隔医療、医療情報システムなどの最新トレンドを網羅する。2024年実績は出展社数804社（28カ国）、来場者18,600人（50カ国）。

Rise of AI Conference

- 会期：2025年5月14日
- ウェブサイト：<https://riseof.ai/>

今年で11年目を迎えるAIに関するカンファレンス。AI分野の第一人者や政策決定者らが集まり、倫理的なAI、AIの規制、AIのビジネス応用など、社会、政治、経済におけるAIの未来について議論される。

GREENTECH FESTIVAL

- 会期：2025年5月20～22日
- ウェブサイト：<https://greentechfestival.com/>

持続可能な技術とイノベーションに焦点を当てたイベントで、気候変動対策、再生可能エネルギー、循環型経済などの技術が注目される。輸送、エネルギー、インフラ、産業、材料など幅広い分野の最新のグリーンテクノロジーソリューションを紹介し、ビジネスネットワーキングの機会を提供する。

Gitex Europe

- 会期：2025年5月21～23日
- ウェブサイト：<https://www.gitex-europe.com/>

アラブ首長国連邦のドバイで毎年開催されている中東・北アフリカ地域最大のIT見本市「GITEX」。2024年の「GITEX GLOBAL」には6,500社以上が出展し、20万人が来場した。2025年5月にはヨーロッパ地域版「GITEX Europe」がベルリンで初開催される。6,000以上の出展者、1,800以上のスタートアップ、1,400以上のスピーカーが参加予定。AI、クラウドコンピューティング、ディープテック、サイバーセキュリティ、グリーンテックなど多岐にわたる分野の最新イノベーションを紹介する。

IFA 2025 - 国際コンシューマ・エレクトロニクス展

- 会期：2025年9月5～9日
- ウェブサイト：<https://www.ifa-berlin.com/>

世界最大級のコンシューマーエレクトロニクスの祭典。最新家電や革新的な技術が発表される場として、毎年世界中から注目を集める。100周年を迎えた2024年の実績は出展社数1800社、来場者数215000人。

Photonics Week 2025

- 会期：2025年10月7～10日
- ウェブサイト：<https://photonic-days-berlin.com/>

ベルリン南東部のアドラーズホフで毎年開催される光技術関連産業イベント。レーザー技術、光学センサー等が主要テーマで、日本の光学・精密機器メーカーにとって欧州進出の足がかりとなる重要イベント。ベルリン・アドラーズホフ・サイエンス・シティはドイツ最大規模の研究技術集積地として知られ、特にフォトニクス分野で国際的に著名なクラスターを形成している。

AsiaBerlin Summit 2025

- 会期：2025年11月24～28日
- ウェブサイト：<https://asia.berlin/about/>

アジアとベルリンのスタートアップエコシステムをつなぐ交流イベント。資金調達、市場拡大、連携機会を求めるスタートアップや、アジア市場に関心のある企業にとって、貴重な情報収集とネットワーキングの場となっている。

2024年5月には東京とベルリンの姉妹友好都市提携30周年を記念した特別イベント「AsiaBerlin Summit in Tokyo」が開催され、スマートシティの次のステージとしての「スマート・ソサイエティ」について日独の専門家が議論を交わした。